

フランク王国の分裂〈分裂後〉



東フランク王国(ドイツ)

- ・ 911年 カロリング朝断絶
→大諸侯による選挙王政に
フランケン公コンラート1世選出 (フランケン朝)
- ・ 919年 ザクセン公ハインリヒ1世の選出 ()
- ・ 936年 ()が即位
- ・ 955年 レヒフェルトの戦いで()を破る
↳ ハンガリー(パannonia)に定住
- ・ スラヴ人の侵入をしりぞける
- ・ 北イタリアを制圧
- ・ 962年 オットー1世が教皇ヨハネス12世により西ローマ皇帝の位を与えられる
⇒()のはじまり
 - ・ 形式上西ヨーロッパ支配者
 - ・ 帝国教会政策(皇帝が聖職者の任命権をもつ)
 - ・ イタリア政策(10~13c)→本国をおろそかにし衰退につながる

* 西ローマ帝国おさらい

- ・ 395年 テオドシウス帝によりローマ帝国は東西に分裂
- ・ 476年 ゲルマン人傭兵隊長オドアケルによって滅亡
- ・ 800年 カール大帝が西ローマ皇帝の冠をさずかる
「西ローマ帝国の復活」

西フランク王国(フランス)

- ・10世紀末 カロリング朝断絶
→有力諸侯による選挙
- ・パリ伯()が選出され()をひらく
- ・直轄地はパリとその周辺の()のみ
- ・王に匹敵する大諸侯が多数分立する

中部フランク王国(イタリア)

- (・855年 ロタール1世の死)
- ・875年 カロリング朝断絶
神聖ローマ帝国の介入
イスラーム勢力の侵入 } ⇒混乱
- ・()や()などの都市が独立
(強大な王国を保っていたのは、カール大帝と伯などとの個人的な結びつきに過ぎなかったから)

- ・843年 ルートヴィヒ1世の死後王国を三分割
()
{ ロタール1世……中部フランク王国⇒()
{ ルートヴィヒ2世…東フランク王国⇒()
{ シャルル2世……西フランク王国⇒()
- ・870年 ロタール1世の死後、中部フランクを分裂
()